

一般質問

議会の存在意義が問われている。議会において議員が市民の代表として、それぞれの立場、方法で提案・質問しているがこれらの発言が行政にあまり反映されていない。これが議会無用論の大きな原因の一つではないか。議員の発言をどのように考えるか。

市長 議員の発言は重く受け止めているし、今後も変わりなくその発言は尊重してより良い行政運営に努めていきます。

○農業振興用途区域とその除外について
○安全で安心して暮らせるまちづくり



さきくに お 木 国 男
さ 佐 々 木 議員

質問 奥州市は今後の農業振興用途区域と農業振興用途除外区域を、総合的に、市長はどのようにお考えでありますか。

市長 農業振興地域整備に関する法律に基づき、集団的に存在する優良農地を確保し、効率的な農業経営を推進するために、合併前の旧市町村において、それぞれ策定した農業振興地域整備計画が現在の計画となっております。

現計画の見直し時期は、まちな

ちですが、計画の見直しから5年経過するものもありますので、19年度において、これらの計画を一本化し、奥州市としての計画を新たに策定するものです。今回の計画策定では基本的に旧市町村において定めた計画を引継ぐものとしておりますが、計画策定にかかる基礎調査をおこない、それらの結果に基づき市としての農業振興に計るためのマスタープラン及び農地利用計画にかかる総合的で一体的な計画を策定するものです。

質問 農用地区域外からの除外につきまして伺います。

市長 農用地の集団化、農作業の効率化、その他、農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を生じない妥当な規模を越えないもの、こういったものが条件になるわけですが、具体的には関係機関の意見を伺いながら個々の案件ごとに判断されるものです。

質問 高速道水沢インターから市街地に入り、南方に約5・7km福原に至る迄の沿線周辺の農振除外と開発について伺います。

市長 西大通り環状線から、水沢インターチェンジ迄の沿線周辺を最初から開発計画に含めて農振を除外したかどうかと言うことでありますが、これについては19年度見直

しをする土地利用計画や、都市計画等の整合性と連動しながら、これからの開発の可能性を市として、どのように考えていくかもあります。強力な都市形成をしていく上で、当然考えておかなければいけない大事な要素であろうと思えます。市としての土地利用の調整会議を開催し、担当する部署との総合的な意見調査をおこないながら慎重に取り組んでまいります。

質問 安全で安心して暮らせるまちづくりについて伺います。

市民が日常生活する上で、危険・不安をできる限り解消し、住みよい環境づくりについての対応策はどうなっていますか。

市長 通学路、歩道設置、交通事情や宅地化による道路改良等、要望箇所の把握については、町内会、区長などを通じて地域からの要望を大事にしながら把握につとめております。

質問 奥州市全体で、要望箇所はどのくらいか、又概算で事業費はどれ程ですか。

市長 おおよそ要望箇所は300数十ヶ所からございます。改善改修費用は、約30億円を見込んでおります。

質問 要望箇所の改善改修等は、どういう順序で対応されるのか。

市長 ご要望いただいた箇所は、その実態を調査して危険度、事業費等を勘案して対応をしております。

質問 防犯灯についてはどのように対応されておりますか。

市長 現在のところ、東北電力からの寄贈いただいたものであるもので、順次対応している実体です。18年度は25基を各区に設置されております。

行財政改革にかかわって



ひろふみ 今 野 裕 文
こんの 議員

質問 「検診の自己負担の見直し」で4500万円、「保健推進委員の廃止」で3600万円の財政効果をだすとしています。ただでさえ、健康診断の受診率が下がりが心配されている中、負担増と啓蒙活動の弱まりで、受診率低下に拍車をかけ、国民健康保険の給付の増額、保険税の引き上げへと結びつきはしないかと心配されます。経済効果を引き出すための自己負担の見直し、そして保健推進委員の廃止は行うべきでないと考えます。